

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援事業所・放課後等デイサービス どりーむキッズよしの川	公表日 令和7年3月28日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		障害の程度や状態によって活動室を変えている。1対1の個別の対応が多く生じる。入浴サービスは2人体制で行う。	入浴・排泄介助・個別の療法和個別・集団的な療育のバランスをとる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		1対1の対応が多いために利用児童の状況により指導員も含めて個別の見守りを行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		話し合いの場を多くとるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		ミーティングで検討し、保護者の意向を踏まえ、できる限り迅速に応えていくようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの他、日々の朝礼でも前日の振り返りや当日の打ち合わせに際しても意見を聞き、検討して変更や改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの他、日々の朝礼でも前日の振り返りや当日の打ち合わせに際しても意見を聞き、検討して変更や改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		法人理事会にて各方面から意見をもらい、事業所で報告・検討している。	地域での評価もいただけるよう企画していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		職員研修会（法人全体・障がい部門・事業所内勉強会）を計画して実施している。外部研修への参加についても希望を取り入れ研鑽の機会を広げている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		モニタリング会議で各職員から意見を聞き、保護者に面談したりまた、保護者の意向を基に職員間で検討したりしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>	現在はアセスメントツールは使用していない。	看護・リハ職員も会議に参加して各方面から意見や提案を集めている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		毎月一回以上、振り返りと翌月の活動についての話し合いを実施している。	企画書を基に、実施に際し流れや留意事項・リスク管理等も含めて打ち合わせを行うようにしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		放課後等デイサービスの利用児童と活動ができる祝日や長期休み期間では季節を感じられるような内容を盛り込み、調理や社会見学などの有用な活動にも参加できるように計画している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼で前日の支援についての情報共有を図るとともに当日の支援の実施についての手順や留意点を確認している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		保護者に対して利用時の様子をできるだけ具体的に伝えられるように連絡帳の記載をしている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健所からの口腔ケア・歯磨き指導などに来ていただいたり、児童館との交流の企画をしている。	今後も機会を捉えて継続して連携を図りたい。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		療育に関する助言や留意点を聞いたり、療育の様子を見学させていただくなど連携を図り、アドバイスをもらっている。		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		近くの事業所・放課後等デイサービスとの交流会を企画している。			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡帳に利用時の様子を具体的に伝えることを心がけている。必要に応じて電話での報告や話し合いの場を設けている。			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		地域の育成会の主催する保護者向けの研修会や集まりなどの情報提供をしている。			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		令和6年の制度改正の際は、利用者負担などについてできるだけ個別に対面での説明を行った。			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		仕事で忙しい保護者にも電話で意見を交換したり意向を確認している。			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○					
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		できる限り迅速に、傾聴して共に考えてアドバイスできるように努めている。			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		久しぶりの開催が実現でき、参加者は少なかったが交流の場がもてたので今後に繋げていきたい。	今回オンラインでの参加の協力もあったので、次回も参加者をひろげることができ交流が図れるように企画したい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		保護者の意見を傾聴して速やかに対応するように心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		法人全体の広報誌どり-まあ通信（年1回）どりーむキッズよしの川だより（月1回）を発行し各種の連絡についての発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		絵カードの利用や、話つらい児童に対しては静かな部屋で個別の時間を取って話を聞くなど配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		今後企画して実現につなげたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		机上訓練や発生時を想定しての訓練や打ち合わせを行っている。防犯訓練は警察署の生活安全課より署員さんに依頼して事業所内で防犯教室と訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		法人全体の研修会で訓練を行っている。洪水想定の上訓練を実施して、市役所危機管理課に届けている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		看護師により把握している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		現在の利用児童に該当者はいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		月1回の点検・見直しも実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		家族には文書で配布し周知を図っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		発生時は迅速に職員で検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		法人全体の研修計画に入れて実施している。また、新入職員は入職後1か月以内に事業所内でも研修の機会を設けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		現在の利用児童に該当者はいない。		